



公益社団法人日本山岳会  
石川支部報



2014年度(平成26年度) 4号

平成 27 年 3 月 31 日発行

I.計画山行、行事報告…………… 1～5

II.今後の行事予定…………… 5～8

III.その他お知らせ…………… 8～10

4月18日(土)は恒例の支部定期総会開催日です。詳細は、本紙「II.今後の行事予定 2.支部定期総会」に掲載してありますのでご覧いただき、多数ご参加ください。

## I 計画山行・行事報告

### 1. 北八ヶ岳「天狗岳」2,646m 登山

■ 2/13(金)～14(土)

- ・コース 渋ノ湯～黒百合ヒュッテ～東天狗岳～中山～高見石～渋ノ湯
- ・参加者 CL 関本邦晴 田井友泰 大幡裕

1日目(2/13)深夜3時小松市を、Tさんの車で出発する。路面の積雪、凍結を考慮して名神～中央高速を走る。2日前の(2/11)に阿弥陀岳で大学山岳部員2人が遭難したことで家族からは何故そんな危ないところと言われ、阿弥陀と天狗の違いを説明するのに骨を折った。

9時10分登山口の渋ノ湯に到着、駐車場にはすでに30台ほどの車があり2日分駐車料金2千円を支払い、登山計画書をポストに入れ、9時40分アイゼンを装着し出発。ルートは、はっきりしたトレースがあり、アイゼンがキュッキュッと小気味よく効く。

天候は、風もなく時々青空が覗く状態で快適な登行だった、だが歩くにつれ自分の足が思い通りに動かずチームのブレーキになった。

12時03分黒百合ヒュッテに到着、小屋

前の温度計は氷点下9℃、付近には5～6張りのテントがある。

予定では、そのまま頂上に向かう予定だったが三人ともほとんど眠らずに夜駆けで来ており、私の体調もあり今は休むこととし、頂上は、明日に変更、とりあえずビールで乾杯。

夜半、小屋に当たる風、雪の音に嫌な予感。

2日目(2/14)外は、ホワイトアウト、気温氷点下12℃、小雪、前夜の風雪で木々はモンスター状態、

とりあえず中山峠まで行き頂上に行っても視界は期待出来そうにもないことから下山して温泉に行こうと意見の一致、早々の下山。

8時10分下山開始、渋ノ湯9時30分着、時間があるので、昔、お世話になった原村の村長、S氏宅によって旧交を温

めてきた。

S氏は原村の管内である阿弥陀岳の遭難に対し前途ある若者二人が本当に痛ましいと何度も言っていた、

S氏は、マナスルやアムネマチン等々の登頂、八ヶ岳西壁には数々のルートを開いた卓越したクライマー、だからこそ、山の怖さは一番分かっている。

S氏と別れ帰路は、安房トンネル経由としトンネル手前の坂巻温泉に入ることになり、露天風呂では、向かいの斜面をつむじ風が雪を舞い上げる景色を見ながらノビりする。今回の山行は、私の普段の

不摂生で登頂は出来なかったが、アフターはとても有意義だった。

3月9日、TVで阿弥陀岳で女子高生が行方不明とのニュースを見て、一瞬S氏の顔が浮かんだが、幸いにも無事救助されホッとした。(文:写真 関本邦晴)



## 2. 支部合同スキー山行

12/6の支部長会議の折、福井支部の森田支部長より「今年は御前荘に泊まり、護摩堂山へ行く」例年スキー登山をしているが、今年はワカン組も編成する」とのお話を伺い、それならとお願いし初めて石川支部も加えていただいた。参加した前田会員の報告である。

■ 2/28(土)～3/1(日)

- ・場所 護摩堂山(1152M)
- ・宿舎 白峰温泉の里「御前荘」
- ・参加状況

		スキー組	ワカン組
富山支部	10名	6名	4名
福井支部	16名	9名	7名
岐阜支部	5名	5名	
京都・滋賀支部	8名	8名	
関西支部	8名	7名	1名
石川支部	1名	1名	
計	48名	36名	12名

・概要

(1) 今回は、福井支部が担当。2月28日15時から「御前荘」にて受付開始。

白山国立公園センター2階研修室で16～17時まで講演会を開催

- ・演題 「加越国境と白山の山スキーについて」
- ・講師 乾靖氏 福井支部会員で白山ガイド、オフィス・イヌイ代表
- ・内容 スキーの歴史 50年前の山スキー 白山の歴史 動植物について 等 ユーモアを交えて、興味深く講演される。

(2) 続いて福井支部 山田哲雄氏が山スキーのコースについて説明。

(3) 懇親会

・ 18時から森田福井支部長の挨拶、田中京都・滋賀支部長の乾杯で開催。

総勢 48名の集まりで明日の天候を気かけながらも、各支部持ち寄りの銘酒でゲレンデ、山スキー談義等で大いに盛り上がる。

・ 終盤は、次期開催の山田富山支部長の挨拶で閉会する。

(4) 二次会

2階の中広間で全員が参加して、よもやま談義に花をさかせる。

(5) 山スキー中止

3月1日は早朝から雨模様。7時に各支部代表が協議し、山スキー中止と決定。

当日参加予定だった織田さんに中止の連絡をする。

(6) 感想

総勢 48名中、石川支部は1名のみとさみしく、次回からもっと参加すべきと痛感する。

(文 前田健進)

### 3. 春山カンジキ山行「奥医王山」

■ 3/14 (土)

・ 場所 医王山 (白丸山北方稜線)

・ 参加者 岡本明男 (CL) 織田伸治 池本順平



絶好の登山日和となった。この天気誘われ当日参加組を期待したが、当初申込3人の山行となる。見上峠に車を置き、08:05 林道入口の土手よりカンジキを付け入る。08:51 医王の里キャンプ場小憩、屋根付き炊事場が3m弱の積雪の底に有る。1月5日来降り積もった今冬の雪の多さを実感する。田島分岐よりひたすら真っすぐに歩を進める、兎の跳ね跡が雪面を走り、樹林に囲まれ佇む静寂の心地よさにチョット一息。09:57 西尾

平で大休止、介護と病と孫・子の話題は歳並みか。白丸山頂へと直登路をとる、柵頸(しがらくび)分岐までは30cmラッセル“トップを早めに交替して”とのCL指示も、其々がまだ良いと足を延ばす。分岐10:58、これより上は雪質も締まり汗ばむ天氣にピッチも上がる。前山より少し下って登り返し11:25 白丸山頂に着く。展望台を覆い隠す雪も、先着登山者曰く“一月一日には頭が出ていた・・・”との話。12時過ぎ、CLが“こ



れから雪上訓練にはいる”の掛け声に“はい”と素直な声が出た。雪上に顔を出す樹枝には海老の尻尾が形造られ、前夜の寒気と風雪模様を窺わせる。春はまだ先かと、北方稜線の雪庇を左手に見ながら足を進めると、尾根筋雪の境目に小さな穴が開いている。ストックで突くとポッカリと口を開け、深い亀裂が雪庇沿いに走っている。雪解けに山の春は確実に来ているのだ。雪の感触を体に馴染ませ、歩き続けることを目的とした訓練を終了し

下山する。13:32 西尾平、朝と同じルートを通り田島分岐に。腐り始めた重いザラメ雪に股関節の疲れを感じ始めたころ見上峠の車の屋根が見えてきた。7時間の山歩き、来て好かった。どんな山でも、入らなければ体は確実に腐っていく。入るのが億劫になると、山は話だけの山になる。何れそうなって辞めて行くのだろう。少しでも先に延ばす為、会山行に喰らいついていく・・・。

(文：写真 池本順平)

#### 4. 福寿草の山・藤原岳登山

■ 3/22 (日)

・参加者 関本邦晴 (CL) 安田二三男 織田伸治 池本順平 國田弘子 安田知人 2名



福寿草



セツブンソウ

久々の藤原岳、体調が優れず参加を躊躇しながらも山で待つ花の声を聞いた。と言うと山の男は嗤う。乙女チックと言っただろうか。でも私は実際その声にはほだされ足の不調も顧みず出かけた。日本山岳会石川支部では、花を愛でる山歩きの計画はかつてなかったとのこと。そんな中、あまりにも藤原、福寿草と騒ぎ立てる声を反映して企画に、深く感謝しなければならない。鈴鹿の北部に位置するその山は、私がかつて片山津に住んだ頃通い詰めたセツブンソウに会う山だ。しかし今回は初めて何人もの山のガイドさん付き、結果、みなれた山のはずがいつもより随分豊かな大自然だと発見できた。鳥が囀ればその名

と習性が、見慣れた木々はそれぞれの名をもって紹介された。花が咲くことすら知らずにいた大きな木が優しい花を付けていることも知らされた。

往路は表登山道と言われる大貝戸道をとった。鉾山の採掘被害か、台風の置き土産か、山の木々を巻き込む崩壊、土石流はかつての深い谷を埋め尽くし、恐ろしい光景と化していた。緑の再生は叶うだろうか。そうした状況は帰り道、裏登山道と言われる聖宝寺道でも見られ、その道筋にあったというセツブンソウの群生地を消していた。谷を降りると、とてつもなく大きな真新しい堰堤ができていた。戦いと言うには余りにも無力な人と自

然とのエンドレスな挑戦がここにもあった。そんな大自然の驚異にさえ屈せず、いつもの場所に愛らしく、清楚にセツブンソウは咲き、太陽に輝く福寿草は鮮やかな黄金色で雪解けの山肌を彩る。頬ずりしたくなる春の天使と呼べばまたもや山の男に嗤われそうだ。でも、その光景に心躍らせ山に向かう自分を私は大事にしたい。相変わらず多くの登山者で賑わう藤原は私だけでない事を示す事が嬉しい。

今年は残雪が多く、特に下山は難儀した。滑りやすい上に足の置き場を誤ると谷に真

っ逆さま、左膝関節痛と高所恐怖症に私の全身が悲鳴を上げていた。いまでも尾を引く。

道すがら、会の趣旨が変わりつつあるとか、後輩の育成はどうなっているのかとの呟きを耳にしながらかし訳なく思った。八千メートルもの雪山に挑む、大きな岩場に心躍らせる男達の会は生半可なものではなく、乙女チックなものでもないはず、胸が痛んだ。

今回限りになるやもしれない花を愛でる登山計画、私は大満足だったことを報告し感謝したい。有り難うございました。

(文 國田弘子 写真 関本邦晴)

## II. 今後の行事予定

先の役員会での原案であり、4/18の定期総会で内容に変更が生じた場合は、あらためて変更箇所を案内します。

本紙に詳細な計画書の記載がない場合は、別途参加者へ通知します。

参加は、指定期日までに事務局または、それぞれの担当者へ申し込みください。

事務局（前川）の電話およびメールは以下のとおりです。

Tel 090-2120-3747 ⇒ 4/1からこの番号に変更になりましたのでご注意ください。

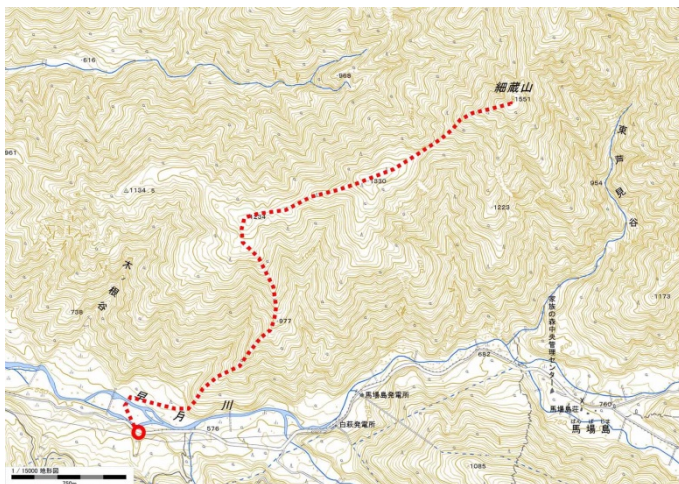
Mail [maekawayo@gmail.com](mailto:maekawayo@gmail.com)

### 1. 越中百山 「細蔵山 1551m」

～ 劔岳北方稜線から大日山の景観と立山杉の巨樹～

● 日 時 平成 27 年 4 月 11 日（土）、雨天の場合は 12 日（日）（担当：八十嶋、中川）

● 目的地：早月川より細蔵山山頂。



1. 伊折集落の先、青少年旅行村前のゲートから登山口まで約 1 時間県道歩き。
2. 早月川の工事用橋が崩壊し、渡渉があり水量によっては渡渉できない場合があります。（長靴持参が安心、登山口にデポします）
3. 登山口から 1200m までが急登です。上部はアイゼン・ピッケル必携。

●集合時間と場所：午前5：00。もりの里ポケットパーク



金沢井波線より砺波 IC>立山ICで降り、馬場島方面へ。

- ◆個人装備：春山服装、昼食、雨具、防寒着、地図、アイゼン、ピッケル、かんじき、ストック、サングラス、嗜好品、カメラ、携帯、補助ロープ
- ◆団体装備：ツェルト 2.(中川)
- ◆交通費：車両1台当/¥5000 円(運転者を除く同乗者で分割)
- ◆参加申込：事務局(前川)へ4月5日(木)までにメールもしくは電話にて。

<メール> [maekawayo@gmail.com](mailto:maekawayo@gmail.com)

<電話> 090-2120-3747

## 2. 平成27年度石川支部定期総会

会員は原則、全員参加願います。

■定期総会 4/18(土) 16時～17時30分

15時から監査を実施しますので、監事はそれまでに集合ください。

- ・宿泊懇親会 同日18：30～ 翌日は朝食後適時解散
- ・申込 出欠いずれの場合も4月10日までに事務局(前川)まで連絡願います。

TEL：090-2120-3747 メール：[maekawayo@gmail.com](mailto:maekawayo@gmail.com)

(注) ①メール環境のある方

\*出席連絡には、懇親会参加も含みますが、懇親会欠席の場合はその旨必ず申告願います。

\*欠席の場合は支部長への委任同意も含みますが、同意しない場合は、必ずその旨申告願います。

なお、委任行為は会員のみ対象で会友は不要です。

②メール環境のない方

支部報に同封されている返信用葉書の記載様式に沿って連絡願います。

③その他

\*総会の議決権は会員のみが有しますが、会友の傍聴参加は自由です。

\*懇親会は会員、会友共に多数ご参加ください。

・場所 「白山里」 白山市瀬波子 51-5 TEL076-255-5998

・会費 11,000 円(宿泊懇親会費用) 総会のみ参加は無料

### 3. (公) 火燈古道・不惑新道整備

■ 4/25 (土) ～ 26 (日)

- ・担当者 大庭 (保) 大幡
- ・申込 4/20 (月) までに事務局または担当者まで
- ・持参品 のこぎり、鉋、鎌等

### 4. 残雪の加越国境

■ 5/16 (土) 予備日 (翌日)

- ・場所 大長山 (取立山より)
- ・担当者 織田 前川
- ・申込 5/9 (土) までに事務局または担当者まで

### 5. (公) 浅犀みくまりの道周回道整備

■ 5/30 (土) ～ 31 (日)

- ・担当者 織田 前川
- ・申込 5/23 (土) までに事務局または担当者まで
- ・持参品 のこぎり、鉋、鎌等

### 6. (公) 石川県安全登山の集い (石川山協)

石川県山岳協会主催事業の支援参加で、一般登山者をサポートします。

■ 6/7 (日)

- ・場所 鞍掛山
- ・担当者 前川 織田
- ・申込 5/24 (日) までに事務局または担当者まで
- ・持参品 地図 コンパス

### 7. (公) 杉峠道登山道整備

■ 6/13 (土) ～ 14 (日)

- ・担当者 織田 池本
- ・申込 5/30 (土) までに事務局または担当者まで
- ・持参品 のこぎり、鉋、鎌等

### 8. 比良山系登山

■ 6/20 (土) ～ 21 (日) 一泊二日

- ・場所 武奈ヶ岳 (1,214m 300名山)
- ・担当者 関本 田井
- ・申込 6/6 (土) までに事務局または担当者まで

### 9. (公) 安全登山教室 (クライミング)

■ 6/27 (土) 予備日 (翌日)

- ・講師 田中康典 会員

- ・場所 白山郷体育館クライミングボード他
- ・担当者 田中 前川
- ・申込 6/20までに事務局まで
- ・持参品 ハーネス カラビナ ビレイデバイス等クライミング用具一式

### Ⅲその他お知らせ

#### 1. 「改訂 新日本山岳誌」の校正作業について

新日本山岳誌は JAC 創立 100 周年記念出版として 2005 年に刊行されました。

本年 2015 年は創立 110 周年で、その記念企画の一環として、11 月に本誌の改訂版を出版することとなりました。改訂は、10 年間に及ぶ地理等の変更に伴うコース変更や市町村合併に伴う地名変更等を中心に現状に即した内容に改訂します。

改訂は初版の執筆者にお願いしましたが、ご高齢になられた方や、お亡くなりになられ

た方の原稿については、300 名山執筆者等最適と思われる会員に改訂をお願いしました。この度、石川支部担当 94 山すべての改訂を終え、期限の 3 月末までに出版代行社の（有）奥多摩館へ原稿送付を完了しました。改訂にご尽力いただきました会員諸氏並びにご協力賜りました関係各位に、ここに厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

支部担当山名、改訂執筆者については以下「のとおりです。（敬称略、最初の山No.の若番順）

① 埴崎滋、前田健進（26 山 共著&単独著含む）

山伏山 宝立山 岩倉山 高洲山 鉢伏山 三蛇山 番場山 猿山 河内山  
別所岳 虫ヶ峰 赤蔵山 眉丈山 四村塚山 伊掛山 七尾城山 石動山 榊形山  
碁石ヶ峰 白ヶ峰 宝達山 三国山 砺波山 岳峰 鳥越城址 火燈山

② 西嶋鍊太郎（8 山）

高爪山 高三郎山 三輪山 高倉山 白山（御前ヶ峰・力丸茂穂） ショウガ山 大辻山 三村山

③ 岡本明男（7 山）

医王山 白兀山 戸室山 キゴ山 卯辰山 三方岩岳 揚原山

④ 中川博人（8 山）

順尾山 高尾山 吉次山 水葉山 国見山 奥獅子吼山 笠山（佐伯芳三） 笈ヶ岳（力丸茂穂）

⑤ 樽矢導章（5 山）

赤堂山 大倉山 月ヶ原山 多子津山 山毛櫛尾山

⑥ 前川陽（6 山）

奥三方山 中三方山 口三方山 大倉岳（岩谷浩三） 大峰 栗津岳山

⑦ 津田文夫（4 山）

拳原山 庄司峰 鷲走ヶ岳 白抜山



- ⑧ 櫻井清隆（1山）  
倉ヶ岳
- ⑨ 村上哲（1山）  
松尾山
- ⑩ 織田伸治（5山）  
雲龍山 砂御前山 鳴谷山 大嵐山 六万山
- ⑪ 太田儀一（11山）  
観音山 大汝山 剣ヶ峰 四塚山 白山釈迦岳 長倉山 大日山 小大日山  
岩倉山 鞍掛山 富士写ヶ岳
- ⑫ 澤村眞治（3山）  
冬瓜山 妙法山 別山
- ⑬ 関本邦晴（5山）  
鈴ヶ岳 大山 蓮如山 高落山 動山
- ⑭ 広瀬幸寛（1山）  
兜山
- ⑮ 大庭保夫（3山）  
刈安山（佐伯芳三） 水無山（佐伯芳三） 寺尾観音山

## 2. 「公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者等表彰受賞」のご報告

当会会員で石川県山岳協会副会長の高田和彦氏（山岳上級指導員）がこの度、標記表彰を受賞されました。誠にありがとうございます。授賞式は昨年12月13日（土）東京品川の「TKPガーデンシティ品川で行われました。なお、表彰理由（主な功績）は、以下のとおりです。

「永年にわたり指導員の育成に尽力するとともに、地域において子供から中高年者に及ぶ幅広い指導活動を行い、登山の普及と指導にあたっている。また、安全登山の普及と国体選手強化にも尽力している。」



## 3. 石川県山岳協会へジム開設に伴う紹介がありましたので、ご案内します。

- ・施設名 WILDCAT BOULDERING GYM (ワイルドキャットボルダリングジム)
- ・営業開始日 平成27年3月1日
- ・所在地 能美市来丸町176-1  
TEL 0761-48-4157 FAX 0761-48-4158  
・URL <http://wildcat-cg.com>
- ・社長 深浦 竜真(タツマ)

- ・マネージャ 深浦 和夫
- ・その他 クライミング用具等については貸出可能ですが、リード用ロープは利用者側での用意となります。

#### 4. 「出版記念トークショー」のご案内

田中康典会員から標記について以下のとおり紹介がありました。

- ・講演名 「女ひとり、イスラム旅」(出版記念トークショー)
- ・講師(筆者) 常見藤代(ツネフジヨ)氏 1967年群馬県生まれ、ノンフィクション写真作家
- ・日時 4月16日(木) 18:30~20時ごろまで
- ・会場 真宗大谷派 徳法寺 [www.tokuhou-ji.com/](http://www.tokuhou-ji.com/)  
金沢市野町2丁目32-4 電話 076-241-5759  
\*駐車場は、付近の有料駐車場をご利用ください。
- ・参加費 無料
- ・概要 イスラムに関してはISやチュニジアの事件等イスラム過激派によるテロのイメージのみが先行していますが、講師はイスラム国で民家を泊まり歩く体験を重ね、遂にはエジプトの遊牧民の女性と2人で2週間遊牧生活を共にするという体験を本にしました。一般民衆の真の姿を写真を通して語る活動を続けている女性で、講演はイスラムの知識を深める好機です。

5.4/1から事務局(前川)の携帯電話番号が以下のとおり変更になりました。

(変更後) 090-2120-3747 (変更前) 080-21952-7298

#### <編集後記>

今年度は、火山爆発や豪雨等自然災害の多い年であったが、幸い会員、会友に被災者がいなかったことは何よりであり、来年度も全員の無事を祈るものです。(A.M)

日本山岳会石川支部報 発行日 2015年3月31日 発行者 公益社団法人日本山岳会 石川支部長 中川博人 編集者 事務局長 前川 陽 電話 076-232-3555 E-mail isk@jac.or.jp
---